

科目コード	51541	授業科目	実践慢性看護特論 I Practical Chronic Illness Nursing Theory I		担当教員	○山本敬子	
開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・特論	授業形態	講義
選択必修	選択（分野必修）	時間数	30時間				
授業概要	<p>病者や家族が抱える慢性病特有の複雑で解決困難な問題とその背景を学ぶ。 慢性病を病む人の行動理解に役立つ諸理論を学ぶ。</p>						
到達目標	<p>1.病者や家族が抱える慢性病特有の複雑で解決困難な問題とその背景について説明できる。 2.慢性病を病む人の行動理解に役立つ諸理論について説明できる。</p>						
回数	授業内容及び計画					担当者名	
第1・2回	慢性疾患を病む人々およびその家族の特徴					山本敬子	
第3・4回	慢性疾患から派生する障害の構造					〃	
第5・6回	慢性疾患の病みの軌跡					〃	
第7～10回	慢性疾患を病む人々の保健行動 ① セルフケアと自己決定 ② コンプライアンスとアドヒアランス					〃	
第11～13回	自己管理行動に関わる要因 ① 身体的状況 ② 無力感と希望 ③ 生活習慣 ④ 年齢・発達課題 ⑤ 健康観 ⑥ 環境・文化 ⑦ 家族介護力 ⑧ ソーシャルサポート					〃	
第14・15回	慢性疾患患者の QOL					〃	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。						
参考文献	Ann Marriner - Tomey 他編集(2002)/都留伸子 監訳(2004). 看護理論家とその業績(第3版). 医学書院 Ilene Morof Lubkin, Pamala D. Larsen (2002)/黒江ゆり子訳(1997). クロニックイルネス 人と病いの 新たななかかわり. 医学書院 Pierre Woog(1992)/黒江ゆり子 訳(1995). 慢性疾患の病みの軌跡 コービンとストラウスによる看護 モデル. 医学書院 Anselm L. Strauss 他(1984)/南裕子 監訳(1987). 慢性疾患を生きる ケアとクオリティ・ライフの接 点. 医学書院 ※その他、適宜紹介する。						
成績評価の方法	自主的な討論への参加状況、プレゼンテーション、レポート等を総合して評価する。						
備考							

科目コード	51542	授業科目	実践慢性看護特論Ⅱ Practical Chronic Illness Nursing Theory II		担当教員	○山本敬子 未定、非常勤	
開講年次	博士前期課程 1年次前期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・特論	授業形態	講義
選択必修	選択（分野必修）	時間数	30時間				
授業概要	慢性疾患を病む人々への支援技術とその評価方法に関する理論を学ぶ。						
到達目標	1. 慢性疾患を病む人々に対して療養上の自己管理能力を高めるための患者教育に関する理論及び社会資源を説明できる。 2. 慢性疾患患者および家族への看護援助を説明できる。						
回数	授業内容及び計画					担当者名	
第1～4回	慢性疾患を病む人々への患者教育 ① 患者教育環境 ピアカウンセリング、グループ療法 ② 患者教育とチームアプローチ					山本敬子 未定	
第5～9回	慢性疾患を病む人の自己管理に関わる理論 ① ケアリング論 ② ヘルスプロモーションとアンドラゴジー ③ セルフエフィカシーとエンパワーメント					〃	
第10～15回	慢性疾患看患者および家族への看護援助 ① 疾患・障害受容への援助 ② 基本的ニーズへの援助 ③ 生活の質を高める援助 ④ 自己管理への援助 ⑤ 社会資源活用への看護援助 ⑥ 家族介護者への支援					非常勤	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。						
参考文献	Ann Marriner - Tomey 他編集(2002)/都留伸子 監訳(2004). 看護理論家とその業績(第3版). 医学書院 Ilene Morof Lubkin, Pamala D. Larsen (2002)/黒江ゆり子訳(1997). クロニックイリネス 人と病いの新たななかかわり. 医学書院 Anselm L. Strauss 他(1984)/南裕子 監訳(1987). 慢性疾患を生きる ケアとクオリティ・ライフの接点. 医学書院 寺崎明美 編集(2010). 対象喪失の看護-実践の科学と心の癒し. 中央法規出版 小島 操子 著(2008). 看護における危機理論・危機介入-フィンク/コーン/アグイレラ/ムース/家族の危機モデルから学ぶ. 金芳堂 山本 和郎 著(1986). コミュニティ心理学-地域臨床の理論と実践. 東京大学出版会 坂野 雄二. 前田 基成 著(2002). セルフ・エフィカシーの臨床心理学. 北大路書房 ※その他、適宜紹介する。						
成績評価の方法	自主的な討論への参加状況、プレゼンテーション、レポート等を総合して評価する。						
備考							

科目コード	51543	授業科目	実践慢性看護特論Ⅲ Practical Chronic Illness Nursing Theory III		担当 教員	○山本敬子、未定 非常勤講師	
開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・特論	授業 形態	講義
選択必修	選択（分野必修）	時間数	30時間				
授業概要	慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術とその評価方法に関する理論を学ぶ。						
到達目標	1.慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術とその評価方法に関する理論について説明できる。 2.慢性看護における果たすべき専門看護師の役割と機能を理解し、課題を述べることができる。						
回数	授業内容及び計画					担当者名	
第1～7回	病期の特徴と援助 ① 発病期 ② 急性増悪期 ③ 慢性安定期 ④ ターミナル期					山本敬子 未定	
第8～9回	慢性看護における倫理的問題					山本敬子	
第10～15回	専門看護師の機能と役割 ① 慢性看護における直接ケア、相談・調整、教育 ② 慢性疾患に特有なコンサルテーションの課題 ③ 慢性疾患特有の倫理的調整					未定 非常勤講師	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。						
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。。						
成績評価の方法	自主的な討論への参加状況、プレゼンテーション、レポート等を総合して評価する。						
備考							

科目コード	51544	授業科目	実践慢性看護特論Ⅳ Practical Chronic Illness Nursing Theory IV		担当教員	○山本敬子、未定、 非常勤講師	
開講年次	博士前期課程 1年次後期	単位数	2単位	科目分類	専門科目・特論	授業形態	講義
選択必修	選択（分野必修）	時間数	30時間				
授業概要	慢性病を病む人々に適用される保健・医療・福祉の制度や体制とその革新方策を学ぶ。						
到達目標	慢性病を病む人々に適用されるケアシステムとその革新方策について説明できる。						
回数	授業内容及び計画					担当者名	
第1～6回	慢性疾患予防に向けた保健・医療・福祉体制とその問題点 ① 生活習慣病の第一次予防体制 ② 生活習慣病の第二次予防体制 ③ 生活習慣病の第三次予防体制					山本敬子 未定 非常勤講師	
第7～12回	慢性疾患や障害を病む人々の保健・医療・福祉制度や体制とその問題点 ① 慢性疾患や障害をもつ人々の機能回復・維持へ向けた援助 ② 慢性疾患や障害をもつ人々の在宅ケア ③ 慢性疾患や障害をもつ人々のターミナルケア					〃	
第13～15回	継続ケアシステム構築における実践的課題					〃	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。						
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。						
成績評価の方法	自主的な討論への参加状況、プレゼンテーション、レポート等を総合して評価する。						
備考							

科目コード	51545	授業科目	実践慢性看護演習 I Practical Chronic Illness Nursing Seminar I		担当教員	○山本敬子 未定 非常勤講師	
開講年次	博士前期課程 1年次	単位数	2単位	科目分類	専門科目・演習	授業形態	演習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	60時間				
授業概要	慢性病の様々な変化する時期に対応した支援技術とその評価方法に関する実際を演習する。						
到達目標	1. 慢性疾患やそれによる障害を病む人々の身体的、心理社会的側面からみた包括的なアセスメント技術を身につけることができる。 2. 習得したアセスメント技術を看護実践に適用する。						
回数	授業内容及び計画					担当者名	
第1回	慢性疾患患者のヘルスアセスメントの目的と意義					山本敬子	
第2回	ヘルスヒストリーのガイドライン					〃	
第3・4回	慢性疾患患者へのインタビュー・コミュニケーション技法					〃	
第5~16回	アセスメント技法 ① フィジカルアセスメントの基本的技法 ② 系統的フィジカルアセスメント技法 (呼吸・循環・脳・神経・内分泌・代謝・消化器等)					山本敬子 非常勤講師 未定	
第17・18回	機能的自立度評価法 運動、認知					非常勤講師 未定	
第19~21回	心理社会的側面に関する情報のアセスメント ① 自己概念に関する情報のアセスメント ② 役割に関する情報のアセスメント ③ QOLに関する情報のアセスメント					山本敬子 未定	
第22~30回	疾患別アセスメント（事例検討） ① 糖尿病患者 ② 脳血管障害患者 ③ 慢性呼吸器疾患患者					山本敬子 未定	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。						
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。						
成績評価の方法	自主的な討論への参加状況、プレゼンテーション、レポート等を総合して評価する。						
備考							

科目コード	51546	授業科目	実践慢性看護演習Ⅱ Practical Chronic Illness Nursing SeminarⅡ			担当教員	○山本敬子、未定 非常勤講師	
開講年次	博士前期課程 1～2年次	単位数	2単位	科目分類	専門科目・演習	授業形態	演習	
選択必修	選択（分野必修）	時間数	60時間					
授業概要	慢性病を病む人々の治療環境、地域社会支援などを、質の高い生活に向けて調整する方策を学び、実践への適用について資料を収集し討議考察する。							
到達目標	1.慢性病を病む人々の治療環境について現状から課題を導くことができる。 2.慢性病を病む人々の在宅での療養を支援する方策を理解し、実践現場に活用できる。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1～4回	我が国および沖縄県における慢性疾患患者の治療環境の現状と課題 (糖尿病、脳血管障害、慢性呼吸器疾患、虚血性心疾患、腎不全等)						山本敬子 未定	
第5～8回	糖尿病患者の治療環境の現状と支援の方策 ① 糖尿病教育入院の現状 ② 糖尿病専門外来、療養相談活動の現状 ③ 糖尿病療養相談活動拡大に向けての方策						非常勤講師	
第9～12回	脳血管障害患者の治療環境の現状と支援の方策 ① 脳血管障害患者再入院の現状 ② 脳血管障害患者の療養相談活動の現状 ③ 脳血管障害患者の相談活動拡大に向けての方策						山本敬子 非常勤講師	
第13～16回	慢性呼吸器疾患患者の治療環境の現状と支援の方策 ① 慢性呼吸器疾患患者再入院の現状 ② 慢性呼吸器疾患患者の療養相談活動の現状 ③ 慢性呼吸器疾患患者の相談活動拡大に向けての方策						山本敬子 非常勤講師	
第17～24回	我が国および沖縄県における慢性疾患患者の社会復帰・社会生活維持および社会生活支援などの看護体制と課題 (糖尿病、脳血管障害、慢性呼吸器疾患、虚血性心疾患、腎不全等)						山本敬子 未定 非常勤講師	
第25～27回 第28～30回	慢性疾患患者を対象とした療養相談活動の拡大・充実への方策 慢性疾患患者を支えるヘルスケアシステムのあり方と将来展望						山本敬子 未定 非常勤講師	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。							
成績評価の方法	自主的な討論への参加状況、プレゼンテーション、レポート等を総合して評価する。							
備考								

科目コード	51547	授業科目	実践慢性看護実習 I Practical Chronic Illness Nursing Practicum I		担当教員	○山本敬子 未定	
開講年次	博士前期課程 1～2年次前期	単位数	4単位	科目分類	専門科目・実習	授業形態	実習
選択必修	選択（分野必修）	時間数	180時間				
授業概要	<p>1. 慢性疾患患者とその家族に対して、専門看護師として質の高い看護ケアを提供できる能力を養う。</p> <p>2. 専門看護師の役割のうち患者ケアにおける倫理的問題の調整に関して実践能力を養う。</p>						
到達目標	<p>1. 慢性疾患患者とその家族に対して高度な知識と的確な臨床判断および熟練した技術を用い、質の高い看護ケアを実践できる。</p> <p>2. 慢性疾患患者とその家族に対して、尊厳を守り患者の持つ倫理的問題を調整・解決することができる。</p>						
回数	授業内容及び計画					担当者名	
第1週 ～ 第4週	<p>オリエンテーション：専門看護師の職場環境を理解した上で、実習を行う。</p> <p>実習施設：①地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター②医療法人 貴和の会 すながわクリニック ③県立南部医療センター</p> <p>実習方法：病棟、地域連携室、外来、在宅ケアでの実習で継続看護の視点で実習が行えるように、担当教員と相談の上、指定された上記の施設から実習施設を選び、担当教員並びに専門看護師に相当する指導ナースの指導のもと実習を行う。</p> <p>・病棟において患者や家族が抱える慢性病特有の複雑で解決困難な事例を2例選定し、必要な看護活動を実践する。</p> <p>・受け持ち事例の在宅療養に向けた継続看護に関わる関係職種との連携に参加する。</p> <p>・外来において退院後の在宅療養における自己管理状況とサポート体制について評価を行う。</p> <p>・訪問看護関連施設において慢性疾患患者の在宅ケア及び関係職種との連携に参加し、在宅での自己管理状況とサポート体制を把握する。</p> <p>・患者ケアにおける倫理的問題に関わる調整を実施する。</p> <p>カンファレンス：問題をケースレポートにまとめ、ケース検討を行う。</p> <p>実習報告書：①～③をレポートにまとめ、それぞれ提出する。 ①事例の患者や家族が抱える慢性病特有の複雑で解決困難事例に対し行った看護実践 ②慢性疾患患者の在宅療養における現状と課題とを考察 ③相談・調整、倫理的問題調整のそれぞれの実際と考察</p>					山本敬子 未定	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。						
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。						
成績評価の方法	実習態度、実習計画書、実習報告書、実習カンファレンスの参加状況、プレゼンテーション、実習指導者からの情報に基づき、総合的に判断する。						
備考							

科目 コード	51548	授業 科目	実践慢性看護実習Ⅱ Practical Chronic Illness Nursing Practicum Ⅱ			担当 教員	○山本敬子 未定、非常勤講師	
開講年次	博士前期課程 1~2年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・実習	授業 形態	実習	
選択必修	選択（分野必修）	時間数	90時間					
授業概要	専門看護師の役割のうち相談・調整、看護職への教育、看護体制の改善、ケア技術の開発に関して実践能力を養う。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護職者に対して専門看護師に相当する役割を持つ専門職者とともに相談・調整機能を実践できる。 2. 看護職者に対して専門看護師に相当する役割を持つ専門職者とともに看護職への教育を実践できる。 3. 看護職者に対して専門看護師に相当する役割を持つ専門職者とともに、看護体制の改善を実践できる。 4. 離島における慢性疾患患者の看護の現状と課題を述べるができる。 5. 専門看護師に相当する役割を持つ専門職者とともに離島看護職へのコンサルテーションが実践できる。 							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
第1週	実習施設 ：①宮古島市の市町役場並びに病院（地域連携室） 実習方法 ：担当教員と相談の上、指定された上記の施設から実習施設を選び、担当教員並びに専門看護師に相当する指導ナースの指導のもと各々の施設で1週間ずつ行う実習を行う。 <市町役場実習>1週間 ・離島住民のメタボリックシンドロームなど健康上のリスクに関する情報の保有ならびに看護活動を把握する。 ・離島における慢性疾患患者の全症例の状況並びに看護状況を把握し、離島における看護上の問題を理解する。						山本敬子 未定 非常勤講師	
第2週	<病院（地域連携室）>1週間 ・離島の看護上の問題を理解し、FCSを使って教育的な支援をする。 患者教育、看護職への教育・相談 ・病院（地域連携室）並びに慢性疾患患者ケア検討会においてケア体制改善に関する活動に参加し、看護体制を点検・評価し、改善案の作成過程に参画する。 カンファレンス ：学生は指導ナースとともに FCS を使って指導教員とのケース検討を行う。 実習報告書 ：①～③をレポートにまとめ、それぞれ提出する。 <市町村役場実習> ①離島住民の慢性疾患につながる健康上のリスクおよび問題を分析し、求められる看護活動の検討 <病院（地域連携室）> ②患者教育、看護職への教育・相談の実際とその考察 ③ケア体制改善に関する活動の参加をとおして、看護体制を点検・評価し、改善案の作成過程とその考察							
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。							
成績評価の方法	実習態度、実習計画書、実習報告書、実習カンファレンスの参加状況、プレゼンテーション、実習指導者からの情報に基づき、総合的に判断する。							
備考								

科目 コード	51549	授業 科目	実践慢性看護課題研究 Practical Chronic Illness Nursing Problem Study			担当 教員	◎山本敬子 未定	
開講年次	博士前期課程 1～2年次	単位数	2単位	科目 分類	専門科目・課題研究	授業 形態	演習	
選択必修	選択(分野必修)	時間数	60時間					
授業概要	慢性看護領域に関連した現場で(自分が)直面する課題に焦点をあて、講義・演習・実習を通して得た課題の知識・技術を参考に、看護実践の改善・改革に関する報告書を作成する。							
到達目標	1. 研究指導教員の指導の下で研究課題を明確化し、看護実践上の問題の追及ならびにその改善・改革を考究できる。 2. 論理的・倫理的思考ができ、実践における事実や思考過程のプロセスを記述できる。 3. 専門職者として生涯学習する態度を身につける。							
回数	授 業 内 容 及 び 計 画						担当者名	
1年次	<2年間での修了予定の場合> 4月 入学時ガイダンス：実践看護の課題に関するオリエンテーション* 研究指導教員希望届の提出・決定* 履修指導、履修届の提出* <11月～6月 CNS実習Ⅰ(4単位)> 実習体験を通して課題を明確化する。						山本敬子 未定	
2年次	4月 課題研究計画書の作成 研究倫理審査申請 研究フィールドの依頼と決定 5月 研究課題にそって情報収集・情報分析 6月・10月(2月)総合科目試験 * <7月～ CNS実習Ⅱ(2単位)> 10月(4月) 課題研究報告書作成 主査・副査の決定 考察・論文作成 12月(6月) 課題研究報告書(第1稿)・学位審査申請書の提出 * 1月(7月) 中間発表会、課題研究報告書(最終稿)の提出 * 2月(8月) 課題研究報告書審査・最終試験 * 合否及び修了判定 3月(9月) 公開発表会 * 課題研究報告書(保存版)の提出 * ※()内は前学期修了予定の日程							
1年次	<3年間での修了予定の場合> 4月 入学時ガイダンス：実践看護の課題に関するオリエンテーション* 研究指導教員希望届の提出・決定* 履修指導、履修届の提出* <11月～3月 CNS実習Ⅰ(2単位)> 実習体験を通して課題を明確化する。							
2年次	<4月～3月 CNS実習Ⅰ(2単位)>							

3年次	<p>実習体験を通して課題を明確化する。</p> <p>4月 課題研究計画書の作成 研究倫理審査申請 研究フィールドの依頼と決定</p> <p>5月 研究課題にそって情報収集・情報分析</p> <p>6月・10月(2月)総合科目試験 * <4月～ CNS実習Ⅱ(2単位)></p> <p>10月(4月) 課題研究報告書作成 主査・副査の決定 考察・論文作成</p> <p>12月(6月) 課題研究報告書(第1稿)・学位審査申請書の提出*</p> <p>1月(7月) 中間発表会、課題研究報告書(最終稿)の提出*</p> <p>2月(8月) 課題研究報告書審査・最終試験* 合否及び修了判定</p> <p>3月(9月) 公開発表会* 課題研究報告書(保存版)の提出*</p> <p style="text-align: right;">※()内は前学期修了予定の日程</p>	
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。	
参考文献	必要に応じ参考資料、参考文献などを適宜配付する。	
成績評価の方法	審査委員会により総合科目試験(口頭及び筆答による)、課題研究報告書の審査および最終試験(口頭又は筆答による)を行う。	
備考	<p>注) *印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自揭示には十分注意を払うこと。</p> <p>◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。</p>	